



地域とともに進める カーボンニュートラル

富士商株式会社

産業エネルギー部 仲間 勇貴

環境ソリューション部 田口 貴規

2025年6月26日

人と地域の ベストパートナー

愛するまちを、人びとの暮らしを支えるモノやコトを創造する。
富士商グループは地域の皆さまが豊かに暮らせる資源や製品、
質の良いサービスを提供し続ける会社であり続けたいと考えています。

会社概要

会社名	富士商グループホールディングス株式会社
所在地	山口県山陽小野田市
設立	2016年（富士商株式会社：1952年）
従業員数	約1000名
資本金	5000万円
売上高	330億円

グループ会社

- 富士商株式会社
- 小野田通運株式会社
- 富士運輸株式会社
- 富士海運株式会社
- 富士産業株式会社
- エネックス株式会社
- 都市産業株式会社
- 小野田商業開発株式会社
- 西部特アス株式会社
- 富士商リテールサービス株式会社
- 有限会社きららナビデザインワークス
- 有限会社レンタワーク
- サン・カルパ
- 有限会社竜王
- 有限会社西部クリーンガス供給センター



事業領域



レノファ山口FC 冠マッチ

オフィシャルトップパートナー



ショッピングセンター

おのだサンパーク



山口きらら博記念公園
多目的ドーム命名権取得

やまぐち富士商ドーム



スポンサー 一覧

WILD BUNCH FEST. 2024



地域とともに、 未来を考える

富士商グループは、地域の皆さまとともに歩んできました。
私たちが提供するサービスや製品は、地域の暮らしを支えるものであり、
その根底には「地域の未来を守る」という思いがあります。
今、環境への配慮はその未来を考えるうえで欠かせないテーマです。
地域の豊かさを次世代へつなぐために、私たちができることは——。

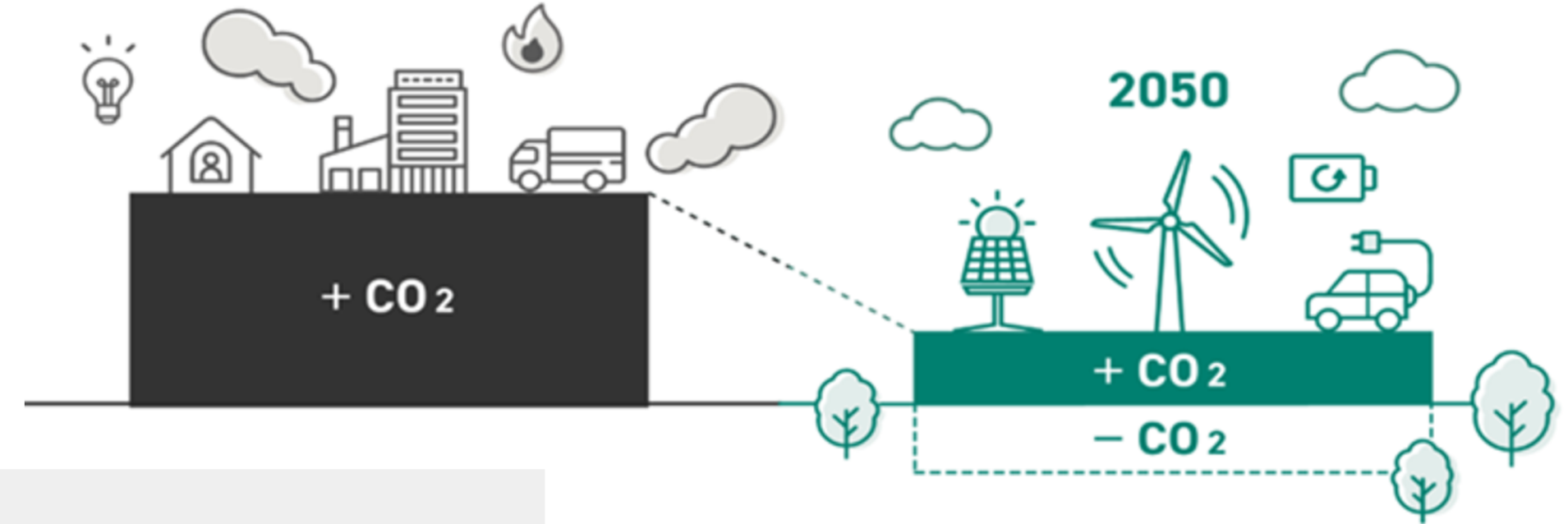


カーボンニュートラル



カーボンニュートラルとは

$$\text{排出CO}_2 = \text{吸収CO}_2$$



「排出を全体としてゼロ」：二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林や森林管理などによる「吸収量」を差し引いて合計を実質的にゼロにすることを意味しています。

経緯

- 2015年 - パリ協定で世界各国が温室効果ガス削減目標を設定
- 2020年10月 - 菅総理が2050年カーボンニュートラル宣言
- 2021年4月 - 日本政府が2030年までに2013年度比46%削減目標を発表
- 2023年3月 - 山口県は2030年までの削減目標を2013年度比17.8%から35.1%へ見直し

カーボンニュートラルの広がり

運搬

- ・ 水素運搬船
- ・ アンモニア運搬船
- ・ 石炭運搬船
- ・ LNG運搬船

など

供給

- ・ 原子力発電
- ・ 水素発電
- ・ 洋上風力発電
- ・ 太陽光発電
- ・ 系統用蓄電池
- ・ バイオマス発電

など

利用

- ・ ゼロエミッション船
- ・ EV、PHV、蓄電池
- ・ ゼロカーボン、スチール
- ・ ハイブリッド電動航空機
- ・ 農林水産業

など



カーボンリサイクル

- ・ セメント工場
- ・ CO₂吸収コンクリート
- ・ バイオ燃料
- ・ バイオマス由来素材

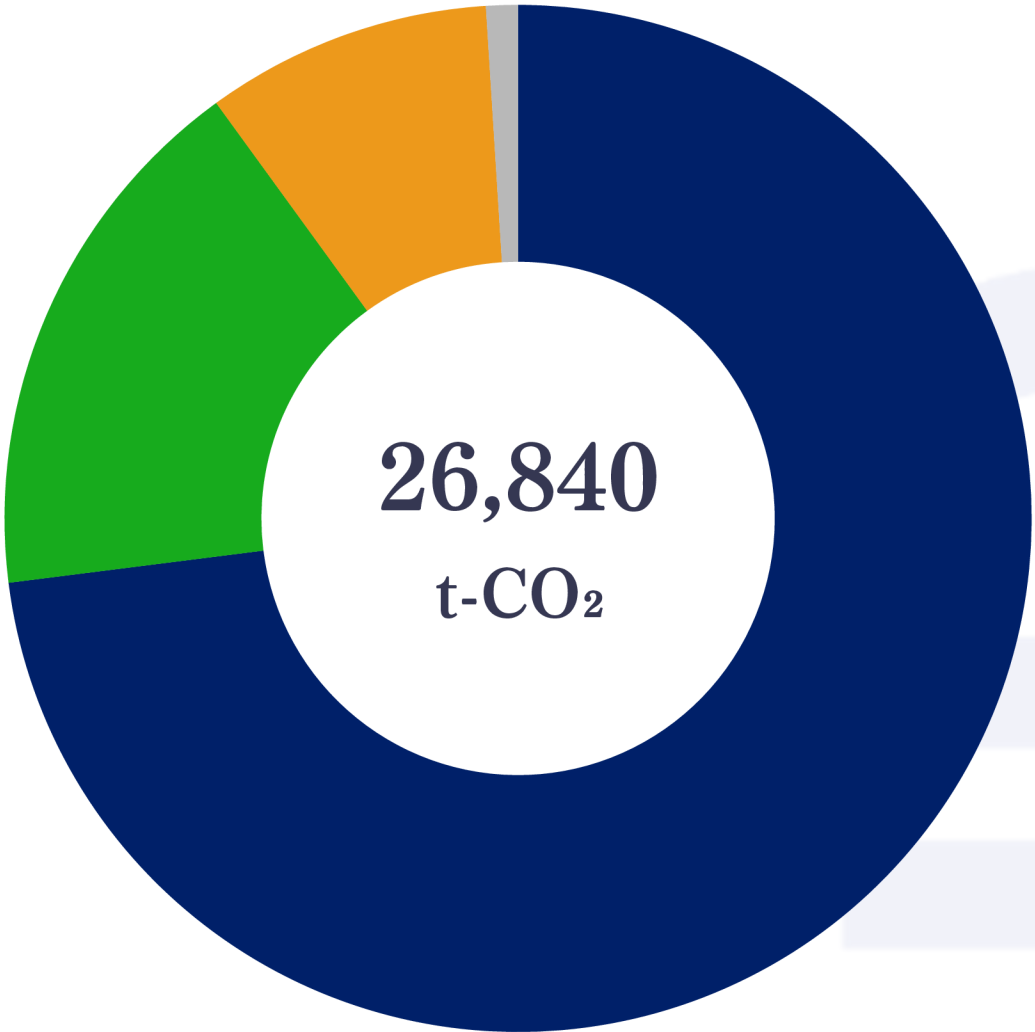
山口県全体のCO₂排出構造

山口県は"産業県"

- 県全体の温室効果ガス排出量の **73%** が産業部門からの排出
- 重化学工業やエネルギー産業が集積
- 温室効果ガス排出量：全国ワースト **13位**
- 人口ランキング：全国 **27位**

一人当たりの年間CO₂排出量： **18.4t-CO₂**
(山口県の人口：約130万人) (全国平均：7.5t-CO₂)

山口県が変われば、日本のCO₂削減に大きく貢献できる！



産業部門	73%	19,691t-CO ₂
民生部門	17%	4,490t-CO ₂
運輸部門	9%	2,529t-CO ₂
一般廃棄物	1%	131t-CO ₂

各市の分野別温室効果ガス排出量

山口県全体では「産業県」の特徴を持ちますが、市ごとに見ていくと特徴が異なります。
各地域の特性に合わせた脱炭素施策が重要です。

都市型

山口市

特徴

- ・ 民生部門の割合が高い
- ・ 高密度な人口と公共施設

課題

- ・ 公共施設の省エネルギー化
- ・ EVシェアサイクルなどインフラ整備

工業型

山陽小野田市 宇部市 周南市 など

特徴

- ・ 産業部門の割合が圧倒的
- ・ 大規模工場の立地

課題

- ・ 工場のエネルギー転換コストが高い
- ・ 既存設備の更新と技術革新

地方型

萩市 長門市 など

特徴

- ・ 農林水産業が盛ん
- ・ 工場等の施設が少ない

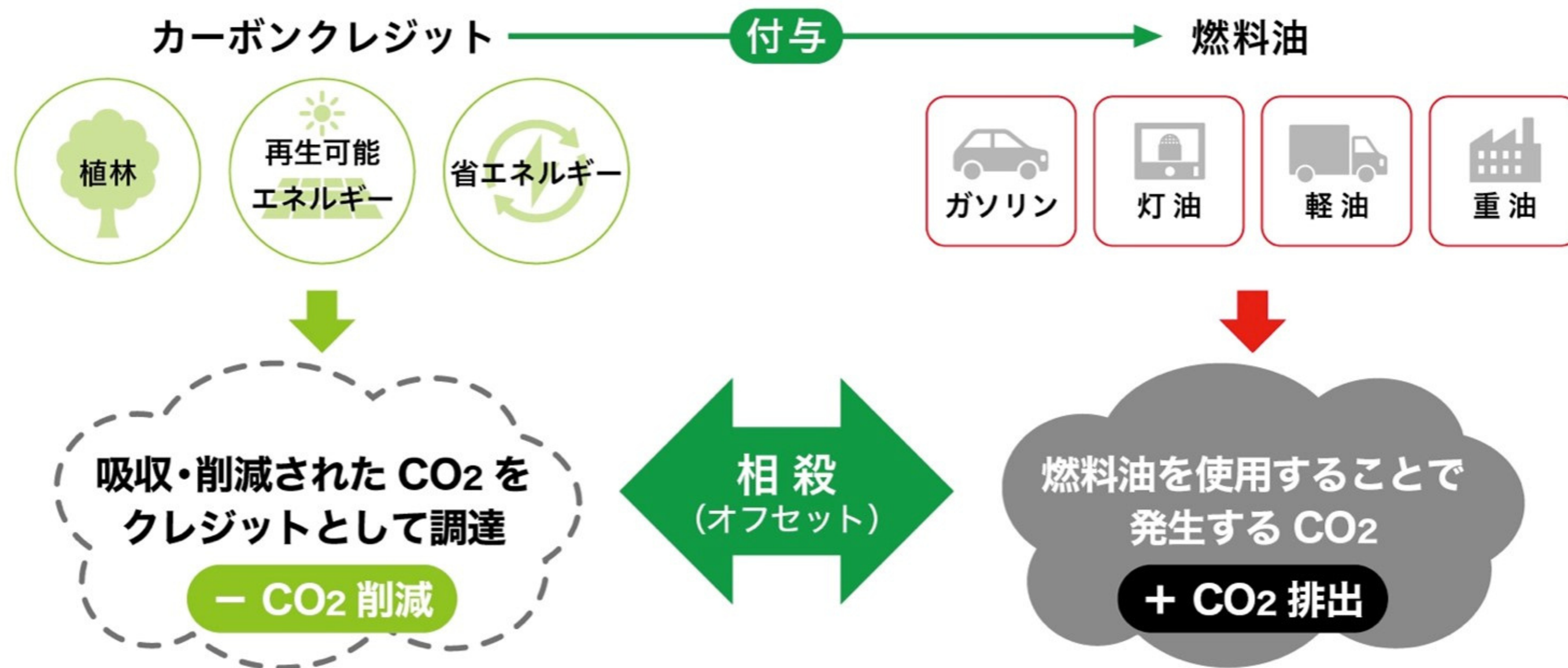
課題

- ・ 資源活用のノウハウや技術不足
- ・ 農林水産業との調和が必要

各市の特性に応じた排出構造の違いを理解し、それぞれの地域特性にマッチした脱炭素対策の実施が求められます。
一律の施策ではなく、**地域ごとに最適なアプローチ**が必要です。

カーボンクレジットが付与された燃料（ICOF／ICOFJ）

企業や団体が温室効果ガスの排出を削減した量を「クレジット」として認証し、売買できる仕組みです。

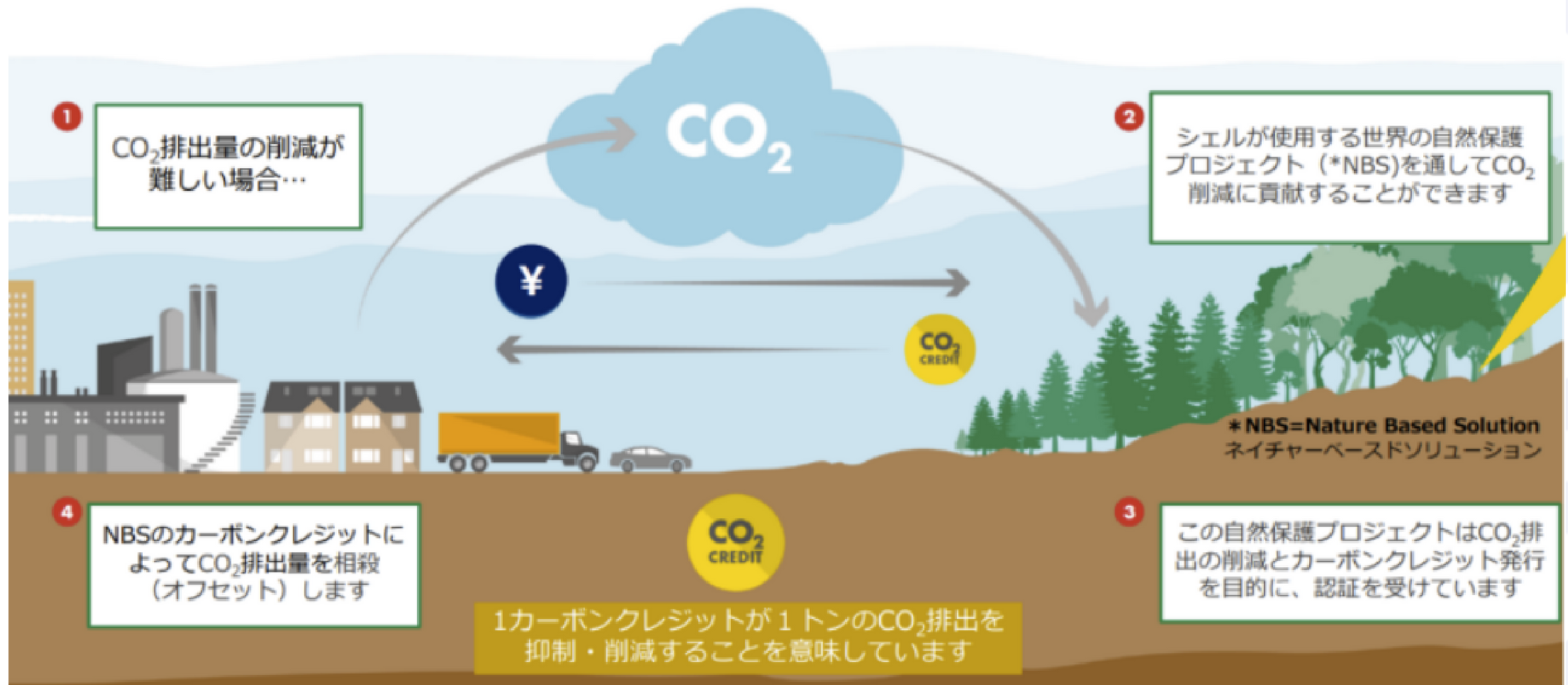


お客様のメリット

● 初期投資不要 ● 要望に応じたプランの選択が可能 ● SDGsの取組に活用可能 ● ESG経営のPRにも貢献

CNL（カーボンニュートラルルブリカンツ）

潤滑油のライフサイクル全体で排出される温室効果ガスを
カーボンオフセットによって実質ゼロにした潤滑油



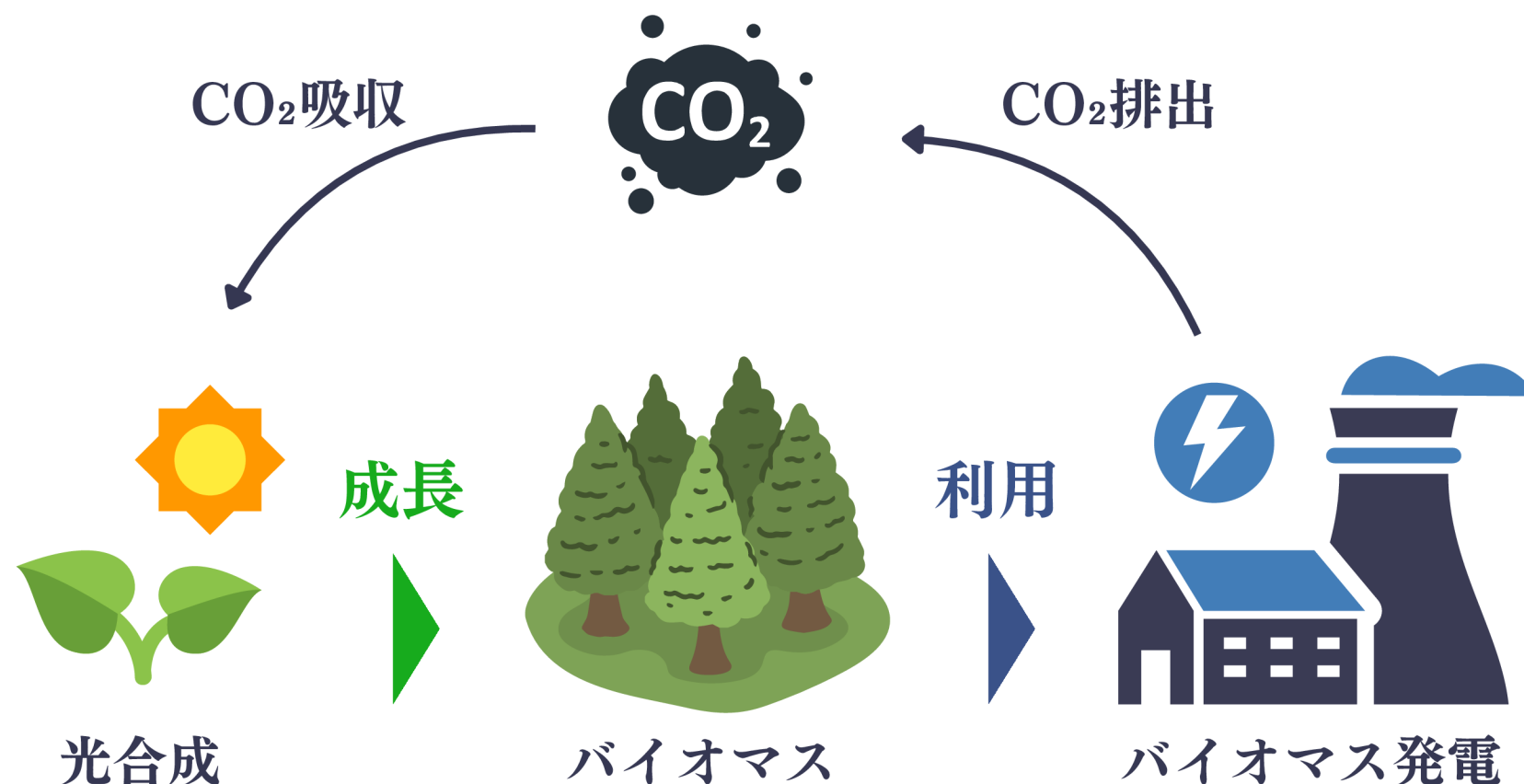
バイオマス

バイオマス 生物資源 量

$$\text{BIOMASS} = \text{BIO} + \text{MASS}$$

- ・ 生命と太陽がある限り枯渇しない
- ・ 再生可能
- ・ 微生物によって分解され環境中に安全に還元

バイオマス発電の仕組み

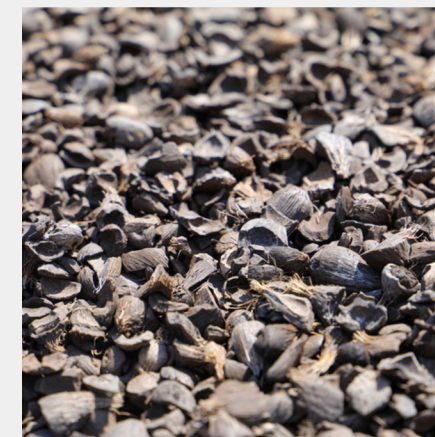


バイオマス商品



木質ペレット

木材の端材を圧縮して作られた燃料で、石炭の代替として利用可能。



PKS

パーム油の製造過程で生じる廃棄物を再利用したバイオマス燃料。



木質チップ

木材を細かく砕いたもののことを指す。

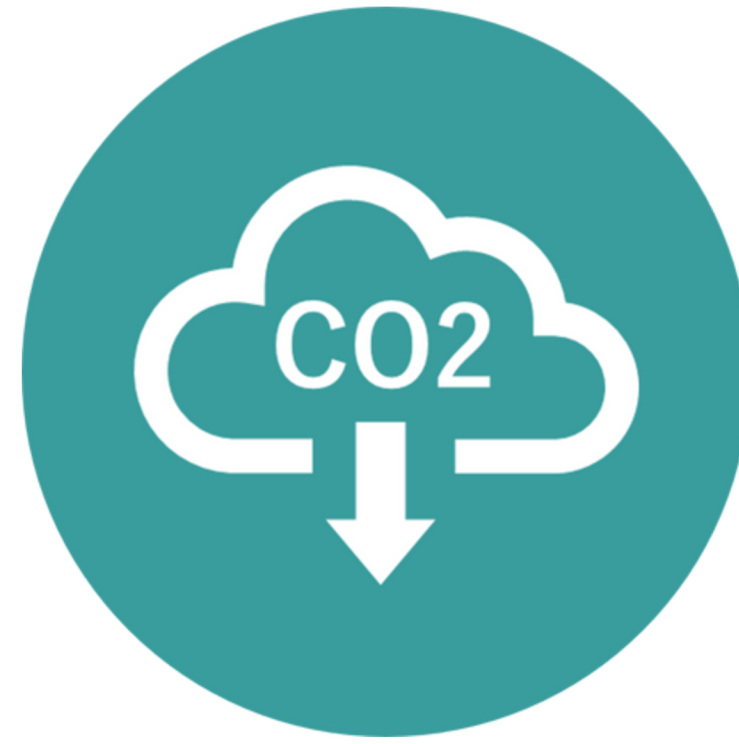
RD（リニューアブルディーゼル）

**CO₂排出量を増やさない
環境にやさしい持続可能なエネルギー**

RD：廃食油や植物油などの再生可能な資源から製造される軽油の代替燃料



植物由来の廃食油を活用



高いCO₂削減効果



既存設備の活用



LNG（液化天然ガス）

天然ガスを約マイナス162℃まで冷やして液体



富士商グループホールディングスでは
LNG専用タンクローリーを複数台保有



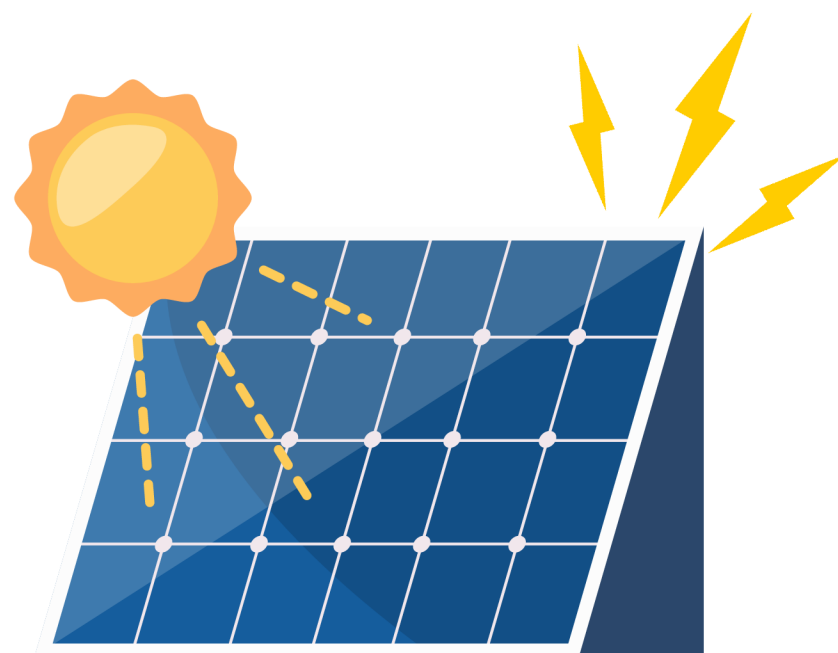
太陽光発電



屋根置き



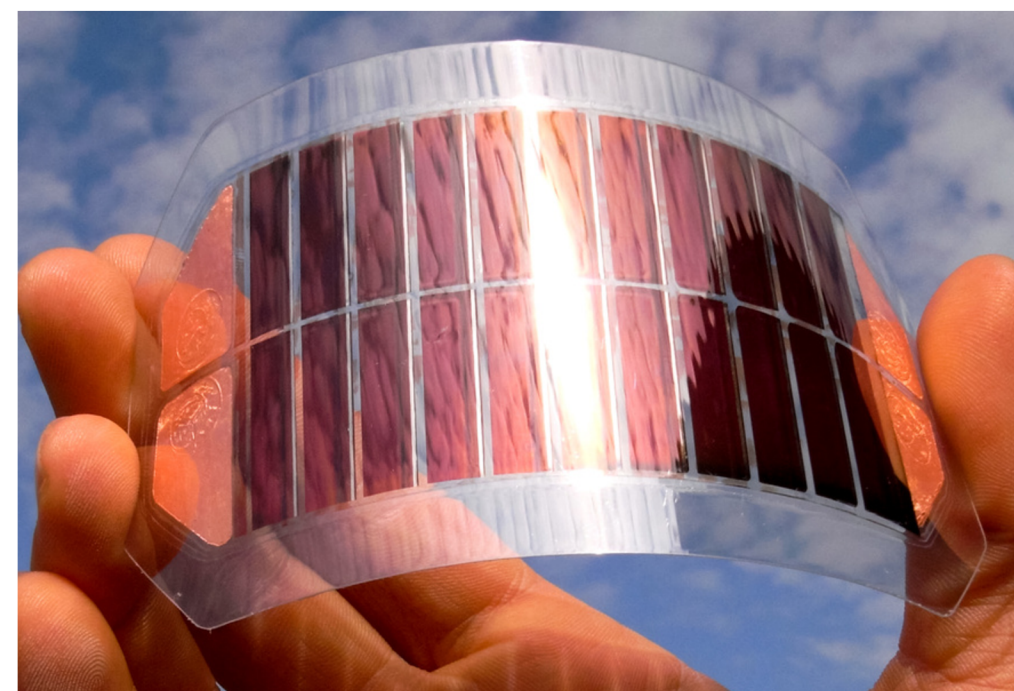
野立て



太陽光を電気に変換



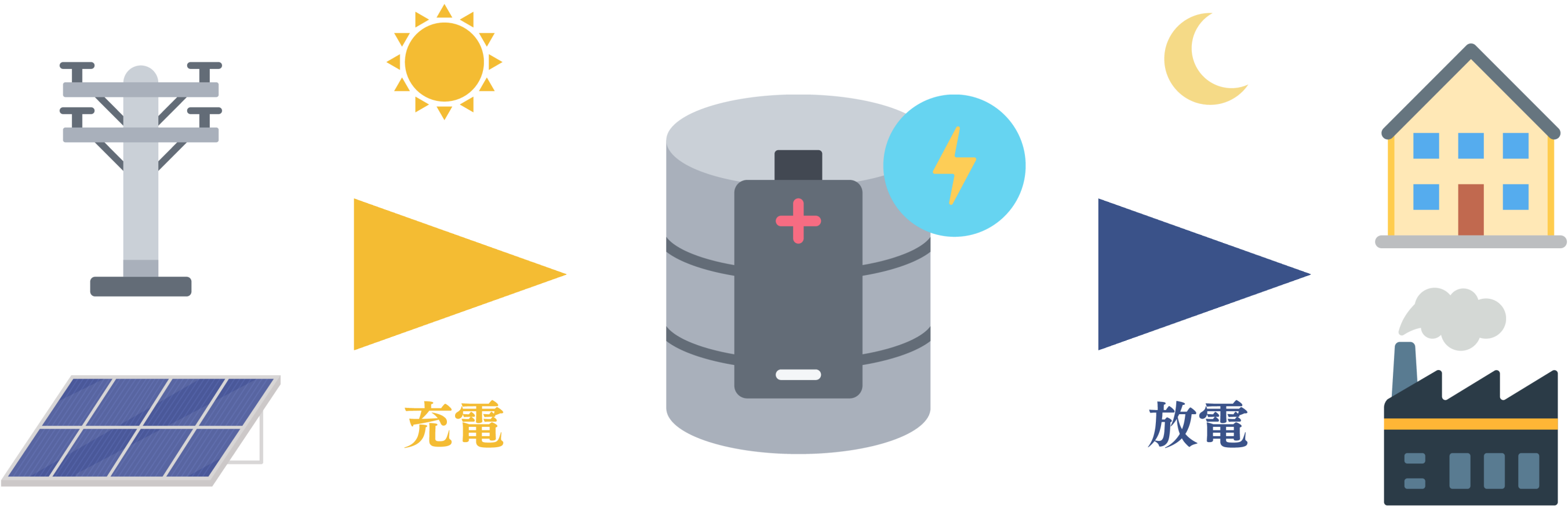
ソーラーシェアリング



ペロブスカイト

蓄電池

電気を貯めて、必要なときに取り出せる装置



家庭用蓄電池

住宅向け小型システム
自家消費・非常用電源



系統型蓄電池

大規模電力貯蔵システム
電力安定化・ピークシフト



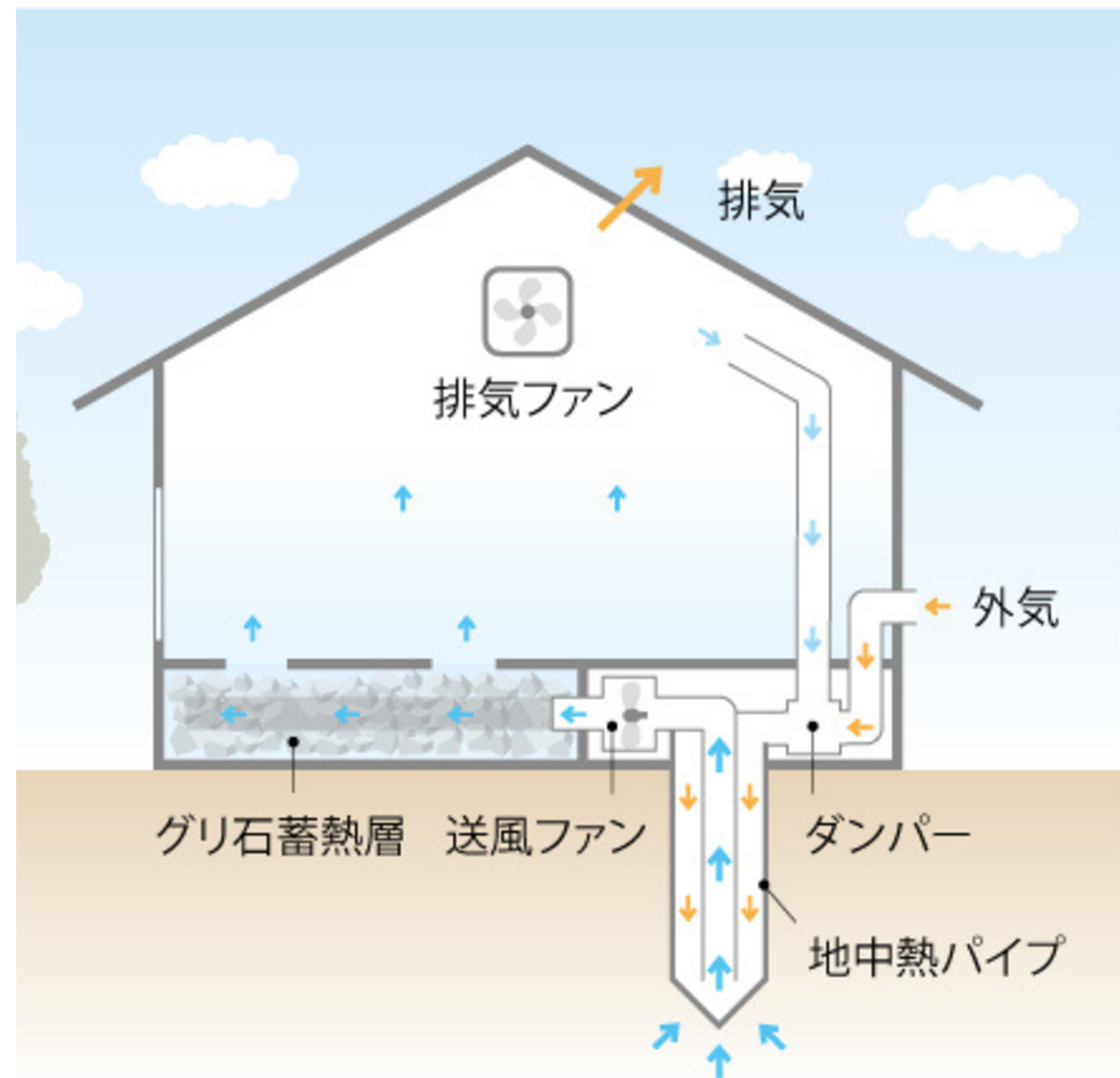
電気自動車 = ⚡ 動く蓄電池

電気自動車は単なる移動手段ではなく、電力を貯蔵し供給できるエネルギー源です。

化石燃料に頼らず移動でき、CO₂排出削減に貢献します。



「地中熱」を使った空調システム



地上

夏 30°C以上

冬 0°C以下

交換



地中

通年 17°C前後

まとめ

地域によって課題や特性も異なる

行政・企業・住民の連携が重要



富士商からのメッセージ



学生の皆さんへ

あなたの出身地域で進められている脱炭素の取り組みは何ですか？

その取り組みに対して、あなた自身が貢献できることは何ですか？



ご清聴ありがとうございました



FGHD



富士商株式会社



FGHD採用情報



SDGs特設サイト

